



品川区精神保健福祉家族会

かもめ会だより



3月13日（水）「かもめ会おしゃべり会（6回目）」のご案内

精神家族勉強会（2ページ上に記載）の前に、直近の五反田文化センターでお弁当をいただきながら、今年度最後の「おしゃべり会」を行います。今回は公認心理士で、かもめ会員の松坂寛之さんをお招きして、心理士さんのお仕事や病院等でのカウンセリングについてお話していただきます。

参加希望者は昼の弁当の予約をしますので、必ず電話かメールで事前に申込をしてください。

かもめ会のおしゃべり会で心理士さんのお話を聞くのは初めてです、参加して!ね。会員無料!

題名 「カウンセリングを体験してみよう」

日時 2024年3月13日（水）11:00~13:00

申込 電話 090-6190-6186

又はメール shoda3@east.cts.ne.jp 庄田まで

会場 五反田文化センター 3階 第1会議室（品川区西五反田6-5-1）

※仮移転中の荏原保健センターから徒歩70メートル



講師・公認心理士
松坂寛之さん





3月13日（水）精神保健家族勉強会開催のお知らせ

日時 2024年3月13日（水）13:30～15:30（荏原保健センター主催）

会場 荏原保健センター 多目的室（仮移転先：品川区西五反田6-6-6）

内容 2023年度の精神保健家族勉強会の「年間まとめ（懇談会）」

参加希望の方は、荏原保健センター03-5487-1311保健担当にお電話ください。



1月17日（水）精神保健家族勉強会開催報告



今回は「グループホームについて」というテーマで、講師は有限会社それいゆグループホームかもめハウス世話人内田大賀様でした。グループホームに入居を希望した場合の一般的な手続き上の流れに加え、かもめハウス内の生活の様子や、職員の勤務体制など具体的なお話を伺う中で、通過型のグループホームを知る機会となりました。（渡邊臨床心理士）



品川区障害福祉計画策定のための団体ヒアリングに参加して

1月23日（火）の13時から、品川介護福祉専門学校において、品川区の次期「障害福祉計画」等策定のための団体ヒアリングが行われました。かもめ会からは会長・副会長をはじめとした5人が参加しました。聞き取り調査を行ったのは策定支援会社のスタッフの方2名で、区職員はヒアリングの前後のみの同席となりました。

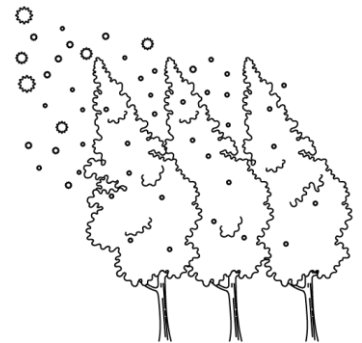
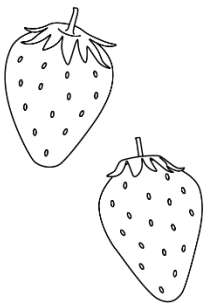
参加者からは、区内の精神障害者の人数把握や人数増への分析に関する意見のほか、「精神の相談場所を増やしてほしい」「品川区では保健師が足りていない」「就労移行支援や通過型グループホームの制度は実態・ニーズに即しているか」「福祉避難所など災害時についての記載を増やしてほしい」「素案では『検討を進める』などの文言が多い。見直してほしい」「入院している精神障害者の地域移行に関する意向調査を実施してほしい」といった要望が出されました。

5人が代わる代わる意見を述べ、かもめ会のみで1時間の時間を取っていただいたおかげで、参加者一同言いたいことを十分伝えられたようです。

策定支援会社の担当者さんは「団体ヒアリングで頂いたご要望等はおおむね理解できる内容で、ご意見はごもっともである。検討して、計画に反映できるものは反映していく」とおっしゃっていました。

最後に、区の担当者から、今回のヒアリングで出た意見や質問について、区からかもめ会に対して回答は出さない旨の説明がありました。

各計画は、次回3月予定の策定委員会での最終的な協議を経たのちに完成・公表される見込みです。





1月17日(水)「かもめ会おしゃべり会(5回目)」開催報告

1月17日(水)午前11時から午後1時までの2時間、五反田文化センターにおいて、第5回目の「おしゃべり会」がかもめ会主催で行われました。

この日は、あべ祐美子都議(立憲)、筒井ようすけ区議(都民ファースト)、やなぎさわ聡区議(れいわ)をお迎えしての会となりました。区議の方々は厚生委員会の委員をされており、あべ都議は文教委員をされています。なお、この日の会員の参加者は17名でした。

釜とらの釜飯弁当をいただきながら、和やかな中にも有意義な会となりました。



特に、やなぎさわ区議は、自ら介護施設を立ちあげ、管理者として8年の経験を持ち、その面からも会話は弾みました。

会員は、それぞれ区議、都議の方々へ日頃の疑問を投げかけ、それぞれの回答を踏まえた話合いに満足した様でした。お腹を満たした後は荏原保健センターに移動し、午後1時半からの「家族勉強会」に参加しました。

(横田信子副会長)



「親なきあと」ではなく「親ある間」に

家族も本人も幸せになる社会にかえよう

みんなねっと12月号の特集を読んで感動しました!

特集は「精神障害者の自立と家族のあり方」です。(会員にはコピーを添付)

兵庫県豊岡保健所長 柳尚夫さんが8ページにわたり書いています。

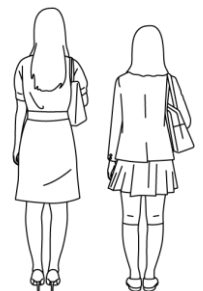
2014年の精神保健福祉法の改正で「保護義務者」がなくなり、精神障害者を家族ではなく社会が支援することになりました。しかし9年経ってもいまだに、全国の家族会の課題は「親なきあとの支援を誰がしてくれるのか」です。

家族に必要なのは頭の切り替えです。親が当事者の生活を支えてきたからこそ、親なきあとが課題なので、親が元気なうちに当事者が社会の支援で自立生活を送れば問題はなくなります。家族の皆さんが、既にある制度を積極的に活用し、もし地元でうまく使えないなら、使える制度にするように自治体に働きかけることです。

統合失調症のお二人の事例を通して、退院して地域生活を支えてくれる人たちの連携や、利用できるサービスと本人の感想などから地域移行・定着の仕組みがイメージできました。

また柳さんは、就労や住居・生活サービスは増えているのに、家族が負担に感じている退院時の支援や、夜間や休日にも相談にのって医療や福祉につなげる役割をしてくれる地域移行・定着がほとんど使われていないと分析しています。今家族に必要なのは、家族に代わって本人の自立支援をしてくれる地域相談事業所だと言います。

「こんな話を早く聞きたかった!!!」(千葉利江)





災害時逃げ遅れる障害者の命を救うには

令和6年2月吉日
品川区障害者七団体協議会
会長 庄田 洋

映画鑑賞会と飯田基晴監督の講演ご案内

映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」

(2012年 東北関東大震災障害者救援本部製作 日本語字幕・音声ガイド付)

日時 2024年3月2日(土)

13:00 開場
13:30 映画鑑賞会開始(上映時間 74分)
14:50 休憩
15:00 飯田基晴監督の講演 16:00 終了

会場 ぐるっば(品川区立障害児者総合支援施設)
地下1階多目的ホール(品川区南品川3-7-7)

定員 60名(定員になり次第締め切り)

申込 ①右のQRコードを読み込んでGoogleFoamにて
②メールにて shinagawa7dantai@gmail.com
お名前、当日連絡先、配慮事項等
※定員超過後の申し込みはのみ、3日以内にご連絡いたします。

問い合わせ先 ①メール shinagawa7dantai@gmail.com
②電話 090-6190-6186(庄田洋)

主催 品川区障害者七団体協議会
後援 品川区 品川区社会福祉協議会



3月2日(土)、ぐるっば(品川区立障害児者総合支援施設)において、品川区障害者七団体協議会主催の映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」上映会および講演会が開催されます。映画鑑賞会は13時30分から、飯田監督による講演は15時から。参加には事前申込みが必要です。



ジェネラルサポートフェア

開催のお知らせ

「みんなおいでよ! 障害児・者と保護者のためのサポートフェア ~ともに出かけて、ますます健やか! 自分らしさの発見に!~」と題してジェネラルサポートフェアが開催されます。

姿勢のAI診断や点検、記念撮影コーナーもオープンします。主催は、品川区障害福祉計画等策定委員会・公募委員の後藤博さんが共同代表理事を務めておられる協創リハビリテーションを考える会。かもめ会も協賛しています。

開催は3月30日(土)13~16時です。参加される方は大井町駅前(JR中央改札前)に14時にご集合ください。または上記開催時間中に直接会場(アワーズイン阪急・会議室)までお越しください。



みんなおいでよ!
障害児・者と保護者をまるごと応援

ジェネラルサポートフェア
ともに出かけて、ますます健やか!
自分らしさの発見に!

参加費 無料

3/30(土) 13:00~16:00
場所: 大井町駅すぐ
アワーズイン阪急(会議室)

- 1 姿勢撮影とAI診断
測定結果が瞬時にわかるよ
- 2 姿勢点検とアドバイス確認
作業・理学療法士が常駐対応
- 3 各種情報の入手と参加記念撮影
ご家族・お友だちと思い出のショットを!

主催: 協創リハビリテーションを考える会
品川区肢体不自由児・者父母の会
協賛: 品川区手をつなぐ育成会、品川区精神保健福祉家族会
品川区身体障害者友和会、ことばアートの会
後援: C-BRIGHT
お問い合わせ先: 協創リハビリテーションを考える会 gotohj2000@gmail.ne.jp
品川区肢体不自由児・者父母の会 i-kikuchi@msc.biglobe.ne.jp